

# 文章表現 Japanese Composition

業：K1-18101MY、生命：K1-36101MS

素養科目 1、2、3 (業)年／前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 橋本 のぞみ(非常勤講師)

## ■教育目的

本講義(一部演習を含む)では、大学及び社会で必要とされる様々な文章形式を習得するとともに、実践を通じ、豊かな表現力を養うことを目的とする。

高度情報化社会といわれる現代、自分の意志を的確に伝達するためには、文章表現のルールを正しく知る必要がある。そこで前半では、日本語の特色や基礎的な表現技法を扱い、後半においては、実作や分析を交えつつ、種々の文章の表現について学習する。【卒業認定・学位授与の方針:YD-⑥、SD-④】

## ■学習到達目標

1. 文章表現に関する基本的な知識を身につけ、自分の考えを伝達する力を育成する。(知識、技能)
2. 教材の読解や実作を通じ、論理的な思考能力の向上を目指す。(知識、技能、態度)
3. 文章を組み立て、推敲する楽しさを学ぶ。(知識、技能、態度)

## ■準備学習(予習・復習)

予習：教科書の該当箇所に目を通すとともに、扱う小論文のテーマや文学作品の関連事項について、簡単に調べておく。(30分以上)

復習：教科書やプリント等を参照しつつ、自分の書いた文章を幾度も読み直し、推敲を心掛ける。(30分以上)

## ■授業形態

双方向型授業、講義

## ■授業内容

| No.   | 項目      | 授業内容                                                                                   | 備考・SBOコード |
|-------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1～5   | 表現技法の基礎 | ・ ガイダンス、文章を書いてみる<br>・ 原稿用紙の使い方、各記号の用法<br>・ 文章の構成、引用の仕方<br>・ 敬語の基礎知識(1)<br>・ 敬語の基礎知識(2) |           |
| 6～9   | 表現の形式 1 | ・ 小論文を書く(1)<br>・ 小論文についての解説(1)<br>・ 小論文を書く(2)<br>・ 小論文についての解説(2)                       |           |
| 10～13 | 表現の形式 2 | ・ 手紙文を書く(1)<br>・ 手紙文についての解説(1)<br>・ 手紙文を書く(2)<br>・ 手紙文についての解説(2)                       |           |
| 14～15 | 表現の分析   | ・ 文学作品の表現—分析<br>・ 文学作品の表現—解説                                                           |           |

## ■授業分担者

橋本 のぞみ(非常勤講師)(No.1～15)

## ■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

【フィードバック】講義等に関する質問を受け付け、解説する。

【成績評価方法】 授業時の提出物(45%)、レポート(55%)で総合評価する。

## ■教科書

庄司達也 他『日本語表現法—21世紀を生きる社会人のたしなみ—(改訂版)』(翰林書房、2019年11月)  
必要に応じてプリントを配布する。